

今年度の調査等を踏まえた「担い手の確保・育成に係る対応策の展開」

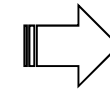
(資料2-1)

業界の現状(課題) : 建設業へ就職を希望する高校生の減、入職者の多様化、高い離職率

<対応策(新たな施策)>

- | | | |
|-----|---|---------------------------------------------|
| 確保策 | { | ①: 高校生が興味を増す授業、インターンシップの内容充実(アンケート調査) |
| | | ②: 高校生の知識のレベルに応じた建設業の魅力、やりがい等の理解促進(アンケート調査) |
| | | ③: 一般の方へのPR強化(アンケート調査) |
| | | ④: 中学校(中学生)との連携(幹事会) |
| 育成策 | | ⑤: 仕事習得促進に係るマニュアル化(幹事会) |

<新たな施策により期待される効果>



- ・建設業に就職を希望する生徒の増
- ・入職者の離職防止
- ・建設業に対する認知度向上、理解促進

既存の取組		R5の取組実績	新たな取組(R6試行期間) New		R7
一般	(1) インスタグラム[官] (2) PR動画の配信[官]	(1) 週3回程度記事投稿、全457回(R6.1月末) →フォロワー2,240人(年度当初より、260人の増) (2) PR動画制作・公開(R6年2月~) →再生回数350回(R6.2月末) PRポスター制作、県内コンビニ等に掲示(R6.4月予定)	一般	○ 県内主要施設でPR動画の放映、イベントの開催[産官] ▶道の駅での試行(1箇所程度) ○ 『感働! ふくしま』ポータルサイトの活用(商労部連携)[産] ▶企業・求人情報の掲載、掲載に関する支援 (効果) ・建設業の理解促進、イメージ向上(旧3K払拭)	確保策③
就業者	(1) ME講習会[産] (2) 新入社員合同研修[産] (3) 土木初任者研修[産] (4) 土木実務者研修[産]	(1) 新規認定者数153名(基礎121名、保全19名、防災13名) (2) 3回開催(4月、7月、12月)延べ205名が受講 (3) 41名が受講(土木部職員5名含む) (4) 33名が受講(土木部職員7名含む)	就業者	○ 既存のwebサイト・動画を活用した自己研鑽への支援[産] ▶学習サイトの情報を集約し会員企業へ提供 (効果) ・多様化した入職者、タイパを求める若年入職者の知識習得支援による離職防止	育成策⑤
大学生	(1) 現場見学会[産] (2) 女子学生座談会[産]	(1) 1回開催(郡山女子大、36名が参加) (2) 2回開催(福島高専、郡山女子大)	高校生	○ インターンシップで現場やものづくりを体験する機会の増[産] ○ 座談会開催校の拡大(農業高校)[産] ○ PRチラシの配布[産官] (効果) ・建設業への興味増進 ・教諭の建設業の理解促進 ・生徒の不安や疑問を解消し、建設業への入職促進	確保策①②
高校生	(1) 現場見学会[産] (2) インターンシップ[産] (3) 学生座談会[産] (4) 写真部現場見学[官] (5) 普通科高校での建設業説明会[官]	(1) 13回開催(建設系高校13校、350名が参加) (2) 11校が参加(建設系高校11校、296名が参加) (会員企業98社の現場で生徒受入れ) (3) 3回開催(福島明成23名、岩瀬農業25名、二本松実業19名) (4) 1回開催 (郡山商業、会津第二、いわき総合から計10名が参加) (5) 4回開催(南会津3名、会津西陵4名、湖南35名、猪苗代29名)	中学生	○ 中学教諭等との意見交換会[産官] ○ 職業体験学習の開催(教育庁連携)[産] ○ PRチラシの配布[産官] ▶1校で試行(今後、市町村教育委員会と協議) (効果) ・教諭、保護者の建設業の理解促進、イメージ向上 ・生徒の建設業への認知向上 ・高校選択のミスマッチ解消(偏差値による高校選択を解消)	確保策④
中学生	-	-	中学生		
小学生・保護者	(1) 現場見学会[官] (2) 親子現場見学会[官] (3) 絵画コンクール[産] (4) キッズニア出展[産]	(1) 6回開催(7校、105名が参加) (2) 2回開催(相双5組11名、いわき8組17名が参加) (3) 1校開催(福島市立庭塚小学校) (4) 3地区で出展(相双87名、白河81名、会津 81名)			

追加

試行内容の評価を行い、今後の実施内容を決定する

道の駅を活用した建設業の広報について

1 目的

県内外からの様々な世代の利用者が見込める公共空間である道の駅において、建設業の仕事の魅力ややりがい、大切さを様々な世代にアピールする広報活動を継続的に実施することで、建設業に対するマイナスイメージを払しょくし、将来の担い手確保につなげることを目的とします。

2 内容

「道の駅ふくしま」において、5月から翌年1月までの9か月間程度、試験的に下記内容による広報活動を実施します。

動画を視聴してアンケートに答えていただいた方に抽選で賞品を贈るなど、利用者の反応を確かめたうえで広報内容についてさらなる検討を加え、将来的には県内3か所程度の通年実施につなげます。

【広報活動の内容】詳細は別添企画書のとおり

- ①建設業の魅力伝える動画の放映（福島県及び協会製作）（期間中）
- ②建設業をPRする資料（重機カード、カレンダー等）の配布（期間中）
- ③建設業の現状や公共事業をPRするパネル展示（④の前後1月程度）
- ④重機でGO体験、重機試乗体験、著名人によるトークイベントなど
「建設フェア」の開催（10～11月の週末にかけて1日開催）

3 実施主体（案）

主催：（一社）福島県建設業協会

共催：福島県、国土交通省福島河川国道事務所 等

4 開催場所

「道の駅ふくしま」道路情報コーナー（福島市大笹生）